

| | |
|---------------|--|
| 地方公共団体名 | 北海道釧路町 |
| 所属部局 担当者名 | 環境生活課環境政策係 主事 阿部 奨太 |
| 地域の抱える 課題 | <p>【環境・脱炭素に関する課題】 本町の総面積のうち、約75%が山林であることから、CO₂ 吸収源としては豊かなまちである一方、都市構造の在り方としては5地区が点在しており、それぞれに適応する脱炭素関連手法が異なることから、地区間を補完する有機的なネットワークにより、地区ごとのスマートシティ化が求められている。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】 平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震による北海道内全域での大規模停電では、一部の町民が避難所生活を余儀なくされるなど、不便で不安な生活を強いられたことから、災害時における地区特性に応じた電力融通が課題である。</p> |
| 事業の目的 | 釧路町スマートシティ形成及び災害レジリエンス強化プロジェクト |
| 事業の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自営線ネットワークのプランニング及び構築 ・ 既設3大メガソーラーのFIT後の受け皿構築 ・ スマートシティ化（ゼロエミッション先行地域形成） <p>※上記の地域課題解決へ直結</p> |
| 企業に求めたい 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ PPAモデル等、民間活力による導入支援 (※本プロジェクトの効果的なPR手法を含む) ・ 企業版ふるさと納税支援 ・ 自営線ネットワークに関するノウハウの提供 |

釧路町自営線ネットワークの構築による スマートシティ形成及び災害レジリエンス強化プロジェクト





【プロジェクトが目指す姿】

- ①既設のメガソーラーを活用した未来環境都市の形成（環境アプローチ）
- ②自営線ネットワーク構築による災害時の電力融通（防災アプローチ）

【進行中の事業】

- ・令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（第3条第1号事業の1）
- ・令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（第3条第1号事業の2）

【凡例】

-  自営線
-  ゼロエミッションエリア
-  自営線中継エリア
-  ゼロカーボンパーク

達古武キャンプ場
(ゼロカーボンパーク化)

(既設)メガソーラー
・釧路町トリトウシ原野太陽光
・すずらん釧路町太陽光

(既設)メガソーラー
・釧路町ソーラーパーク

【遠矢エリア】
■釧路町遠矢支所/公民館
●遠矢小学校/中学校

【別保/東陽エリア】
■釧路町役場
■保健福祉センター
■東部消防組合
●別保小学校/中学校

【セチリ太エリア】
■釧路町セチリ支所
■総合体育館
●富原小学校/中学校
▲大型商業施設
★住宅街

【昆布森エリア1】
■釧路町昆布森支所
●昆布森小学校/中学校

(新設)メガソーラー誘致
○○○○

【昆布森エリア2】
●知方学小学校

